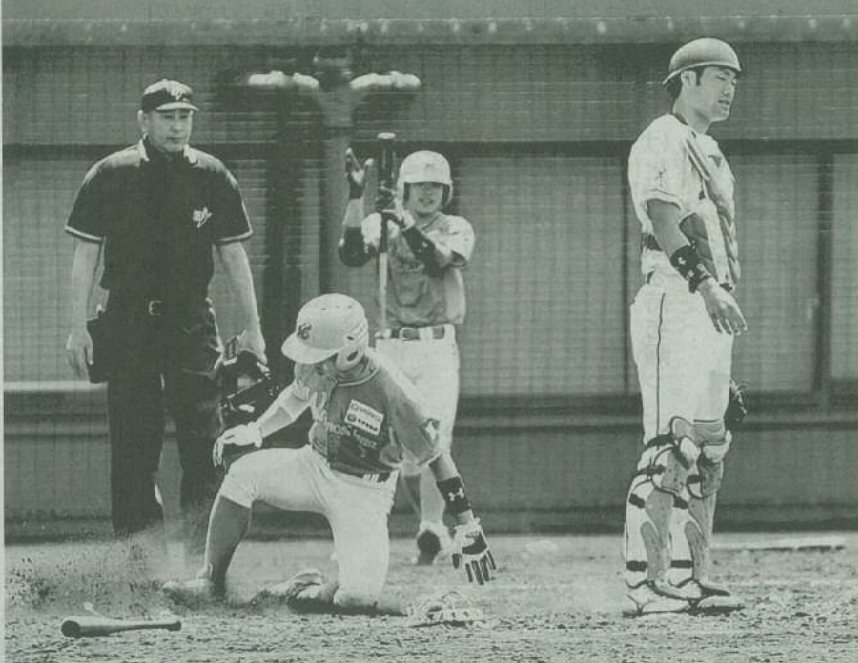


箕島球友会 惜敗

一時6点リード 終盤逆転許す

都市対抗野球

近畿地区2次予選
 第86回都市対抗野球
 大会近畿地区2次予選
 (毎日新聞社・日本野
 球連盟近畿地区連盟主
 催)は26日、大阪市此
 花区の舞洲ベースポ
 ルスタジアムで準々決
 勝2試合があった。日
 本生命(大阪市)は、和
 歌山箕島球友会(有田
 市)に8-7で逆転勝
 ちした。NTT西日本
 (大阪市)は8-0と完
 封で日本新薬(京都市)
 を破った。【椋田佳代】



和歌山箕島球友会-日本生命 三回表和歌山箕島球友会無死一、三塁、浦川が高橋孝の二ゴロの間に生還し、先制する
 一大阪市此花区北港緑地2の舞洲ベースボールスタジアムで

和歌山箕島球友会
 0024010007
 日本生命
 0001051X87
 日本生命は七回、高橋の走者一掃の左越え三塁打などで5点を挙げて追いついた。八回に広本の適時打で勝ち越し、逃げ切った。和歌山箕島球友会は四回、林の適時二塁打などで4点を追加したが、及ばなかった。

新人2投手に期待

真価問われる第3代表決定



寺岡大輝投手



桐原勇人投手

和歌山箕島球友会は終盤に逆転され、惜しくも敗れたが、戦力的な収穫と自信を得たことも確かだ。
 2次予選は企業8、クラブ4の計12チームが五つの代表枠を敗者復活戦のあるトーナメントで争う。戦力的に優位な企業チームの中でも、今春のJABA京都、東北両大会を制した日本生命は頭一つ抜けた存在とみなされ、クラブ4チームの中で唯一企業チームの新日鉄住金広畑を倒して8強に進出した箕島球友会にとっ

て、現在の力を測る絶好の機会だった。
 今季の箕島球友会の投手陣は、いずれも新人の桐原勇人投手(成美大出身)と寺岡大輝投手(大産大出身)が先発の二枚看板。いずれも速球は最速140kmを超え、力勝負もできる。「強いチームと戦えるのが楽しみ」と口をそろえ、戦う意欲も十分。
 日本生命戦は先発2番手の寺岡投手が先発したが、中盤まで試合をつくり、十分戦力になることを証明した。打線も粘って一時は6点のリードを奪い、「あわや」と思わせた。
 29日からの第3代表決定トーナメントに回ったが、ここでは広畑を完封した桐原投手の大車輪の働きが期待できる。日本新薬との初戦に注目だ。【矢倉健次】

点0
 安打3
 打数2
 得点1
 打点1
 犠打0
 盗塁0
 失球0
 残塁0
 併殺0
 併殺打0
 犠打0
 盗塁0
 失球0
 残塁0
 併殺0
 併殺打0

計34106
 点10
 安打13
 打数10
 得点1
 打点1
 犠打0
 盗塁0
 失球0
 残塁0
 併殺0
 併殺打0

計3387
 安打4
 打数9
 得点1
 打点1
 犠打2
 盗塁1
 失球1
 残塁1
 併殺1
 併殺打1

高平間
 打時間
 中野
 打時間
 林
 打時間
 三橋
 打時間